

第3回 沖縄市交通拠点整備基本構想 検討委員会

日時：2023年11月30日（木）10:00～12:00

場所：沖縄商工会議所 2階 大ホール

次 第

1. 開会

2. 議事

1) 委員会設置要綱（案）について

3. 報告

1) 令和4年度沖縄市交通拠点整備基本構想庁内連絡会・検討委員会議事要旨

2) 令和3～4年度の実施内容

3) 令和5年度の実施内容

4. 閉会

○配布資料

- ・ 沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会設置要綱 …………… 資料 1
- ・ 沖縄市交通拠点整備基本構想庁内連絡会・検討委員会議事要旨 …………… 資料 2
- ・ 令和3・4年度の実施内容 …………… 資料 3
- ・ 令和5年度の実施内容 …………… 資料 4
- ・ イベントに関する情報提供 …………… 参考資料 1
- ・ 交通拠点基本構想（案）の意見収集に向けたイベントの実施（速報） …………… 参考資料 2

沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会設置要綱（案）

（設置）

第1条 沖縄市胡屋・中央地区における交通結節点及びその他周辺整備等基本構想（以下「沖縄市交通拠点整備基本構想」という。）の策定にあたり、専門的な知見等から幅広く意見聴取を行うことを目的として、沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 委員会は、「沖縄市交通拠点整備基本構想」について、様々な観点から検討及び協議し、意見を述べるものとする。

（委員会構成）

第3条 委員会は、市長が委嘱し、又は任命する委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱又は任命された日より1年間とする。

3 委員会は別表に掲げる委員をもって構成する。

（委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長と副委員長を各1名置き、委員の互選でこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員長は、必要があると認めるときには、委員会の会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聞くことができる。

4 委員会の会議は、原則公開とする。ただし、委員長は、公開することにより公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生ずると認められるなど、特別な理由がある場合には、非公開とすることができる。

5 委員長は、やむを得ない理由により委員会を開くことが出来ない場合において、事案の概要を記載した書面を委員に配布し、その意見を徴することができる。

6 前項の規定により意見を徴した場合、委員長が次の委員会において報告しなければならない。

(代理出席)

第6条 委員がやむを得ず出席できない場合であって、市長が必要と認めたときは、委員は代理出席者を会議に出席させることができる。

(基本構想の策定)

第7条 市は、基本構想の策定にあたり、委員会で聴取した意見を十分に考慮するとともに、基本構想に反映させるよう努めるものとする。

(検討部会)

第8条 委員会は、必要に応じて検討部会を設置することができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、建設部都市整備室都市交通担当において処理する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和4年11月9日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月17日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年11月30日から施行する。

別表

分類	役割	所属	役職
学識者	委員	琉球大学	名誉教授
	委員	琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース	准教授
市民・利用者	委員	胡屋自治会	会長
	委員	センター自治会	会長
	委員	中の町自治会	会長
	委員	まちづくりNPO コザまち社中	理事長
	委員	社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会	事務局長
	委員	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	会長
商業事業者	委員	沖縄市一番街商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市サンシティ商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市センター商店街振興組合	代表理事
	委員	コザゲート通り会	会長
	委員	コザパルミラ通り会	会長
	委員	胡屋大通り会	会長
	委員	合同会社イドムス	代表社員
	委員	沖縄商工会議所 中小企業振興部	部長
交通関係者	委員	一般社団法人 沖縄県バス協会	専務理事
	委員	沖縄バス株式会社	取締役運輸部長
	委員	東陽バス株式会社	常務取締役
	委員	株式会社 琉球バス交通	常務取締役
	委員	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長
行政	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室	室長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所	副所長
	委員	沖縄県 企画部 交通政策課	課長
	委員	沖縄市 企画部	部長
	委員	沖縄市 建設部	部長
	委員	沖縄市 建設部	参事
	委員	沖縄市 経済文化部	部長
オブザーバー		内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所 管理第2課	課長
オブザーバー		独立行政法人 都市再生機構九州支社 沖縄まちづくり支援事務所 まちづくり支援課	課長

沖縄市交通拠点整備基本構想庁内連絡会・検討委員会議事要旨

第2回 沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会（議事要旨）

日時：令和5年5月24日（水）10:00～12:00

場所：沖縄アリーナ 5階フロア

1. 開会

2. 報告

（資料1、資料2、資料3）

3. 議事

（資料4）

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄総合事務局 運輸部 村上委員	- ターミナルが出来ても車で来訪されるイメージがどうしてもある。来訪者が車で移動する背景をもっと深掘すると良いと考える。 - なぜ車を使うのか、車から転換するには何が必要なのか、どういった対応が考えられるのかについても考えられるようにしてほしい。コミュニティバス等も盛り込みながら、車以外の選択肢が取れるようにしてほしい。 - コザのまち中にラグーン、スタートアップラボが作られていて、スタートアップ起業家と連携することで新しいビジネスが生まれることを期待しているので、連携してほしい。	（事務局） - バスターミナル、駐車場のバランス、車に依存しないまちづくり等も考えていく必要がある。 - 胡屋の地域資源の活用も視野に入れて検討したい。
沖縄商工会議所 比嘉委員	シェアサイクルのニーズをまちの人から聞いている。バスタの前にも可能ではないか。導入することで回遊も向上すると考える。また、自転車専用の道路があれば市内の回遊の基盤が出来るのではないか。	（事務局） 自転車の活用は考えている。まちからアリーナまで直線で2kmあるため徒歩では大変な面もある。他市町村でもシェアサイクルが進められており、情報収集しながら取り組んでいきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
胡屋自治会 島袋委員	・ バスターミナルに來ればどこにでも行ける機能、飲食、情報が取れる等になればいいと考える。循環バスの連携も是非行ってもらいたい。	(事務局) ・ ご意見を参考に、今後検討したい。
コザまち 社中 照屋委員	・ 胡屋地区はセンベロで夜に人が多い。課題の解決に向けて是非連携していきたい。	(事務局) ・ 地域課題について、引き続き皆さんと意見交換していきたい。
沖縄総合 事務局 南部国道 事務所 具志堅委員	・ 南部国道事務所においてもバスターミナルの検討を行っているが、現状の胡屋バス停は通過バス停であり、起終点とはなっていない。交通結節点とするにあたり、広域の連携が重要となってくると考える。市のコミュニティバスも含めて機能発揮できるよう連携出来ればよいと考える。 ・ まちづくりとして、住居、商店街等、まちの日常的な働く場所を作っていくことも重要ではないか。	(事務局) ・ ターミナル機能を胡屋に持つことで、各方面と連携した交通網を実現したい。 ・ 部署連携して取り組んでいきたい。

琉球大学 神谷 副委員長	9 ページ、安全に関する記載があるが、この中に無電柱化について記載いただきたい。通学路の安全性、この場所の災害時の機能を果たすという意味合いにおいても、この言葉を入れてほしい。 - 無電柱化・可能と考えるため検討してほしい。 - 胡屋発の高速バスは検討されるのか。 - バスターミナルについて、平面、立体のどちらを想定しているのか。 - 徒歩移動はアンケートでは 15～30 分程度とあるが、需要があるルートだけでなく、歩いて楽しい空間・ルートを創出しようとすることも重要ではないか。アンケート結果を広めに捉えて検討いただきたい。 - アグープを使って来訪者の広めの分析(どこから来るのか、居住地はどこか 等)を行ってほしい。 - 駐車場施策との整合を図る必要がある。また、コザ運動公園内の動線について、車中心であるためデザインの検討は行えないか。	(事務局) - ご指摘通り、災害に強い交通拠点の要であるため、電柱があると難しいと思う。指摘内容について反映を行う。 【備考】 - 事業予定地は【胡屋北交差点改良事業】で胡屋十字路からコザボーリング手前まで無電柱化が決定。 - 道路法 37 条で、新たに国道用地内には電柱占用不可。 - 胡屋十字路からコザ十字路まで無電柱化予定。 - 現在は平面を考えているが、立体についても可能性について検討していきたい。 - アンケート等で把握していきたい。 - ご意見を参考に、今後検討したい。 - 関係部署に情報提供等行いながら調整したい。
-----------------------------	--	--

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市 観光物産 振興協会 島袋委員	・ 修学旅行の対応として、ミュージックタウン前に観光バス 5 台を止めている。待機場として活用したいので是非連携をお願いしたい。 ・ キングスの試合、全島エイサー祭り、ライブやイベントでシャトルバスの利用も検討してほしい。	(事務局) ・ 今後、ニーズ等を把握していきたい。情報提供等のご協力をお願いしたい。
コザ商店街 連合会 普久原委員	・ 今回の構想を聞いて、商店街は期待している。地域の立場から、渋滞が増える懸念があり那覇向けも作ってほしい。 ・ バスターミナルのイメージ案②について、国道 330 号を挟んでの回遊が生まれなため、歩道橋等で繋ぎ、回遊が生まれるような工夫を考えて欲しい。 ・ 商店街のにぎわいについて、基本的には夜の飲食が中心であるが、それが嫌な家主もいる。住んでいる人とのトラブルも生じていると聞いている。商業空間、居住空間の住み分けが出来ないか期待している。	(事務局) ・ ご意見を参考に、今後検討したい。 ・ ご意見を参考に、今後検討したい。 ・ 関係部署と連携しながら可能な対策等について検討していきたい。
バス協会 慶田委員	・ 路線バスの定時性を確保するためにはうるま市向け、那覇市向けの両方が必要である。観光バス、シャトルバス等もあるため上り、下りで整備することは重要ではないか。	(事務局) ・ ご意見を参考に、今後検討したい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
池田委員長	・ 那覇向け、うるま市向け、ターミナル動線、回遊性を含めた繋がりを意識して、立体的な広場の延長みたいな感じで、立体的に繋がると良いのではないかな。 ・ 歩行環境については雨・日差しの対策が必要である。日影をどう生み出すか課題として考えてほしい。	(事務局) ・ ご意見を参考に、今後検討したい。 ・ ご意見を参考に、今後検討したい。

令和3・4年度の取組内容

令和5年11月30日（木）

沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

検討の経緯

- 関係機関（沖縄市・沖縄県・国）について説明
-

年度	沖縄市の取組み (国道330号沿道まちづくり)	沖縄県公共交通活性化推進協議会の取組み (基幹バスシステムの導入等)	国のうごき (国道330号改良等)
H20		『那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市（・北中城村） 地域公共交通総合連携計画』の策定 ▶ 基幹バスの交通結節点（沖縄市）は「コザについては リニアバスターミナルを形成」 ※リニアバスターミナルとは造語で、 交通結節点の機能を「点」でなく 「線」で整備するというもの。	
H21	土地利用計画構想(案)の策定 (胡屋～コザ)		(沖総局) H22～コザ十字路交差 点改良工事着手
H23	壁画及び広場の実施設計（コザ）	『連携計画』の改定 ▶ 基幹バスの交通結節点（沖縄市）は「コザ～胡屋に ついては、リニアバスターミナルを形成」	
H28	沿道まちづくりビジョン(案)の策定 (胡屋) ▶ 国道拡幅や交通モード（基幹バス～鉄 軌道）に応じた段階的なまちづくりをイメージ	『連携計画』の改定 ▶ 基幹バスの交通結節点（沖縄市）は「コザ～胡屋に ついては、リニアバスターミナルを形成」	(沖総局) 胡屋北交差点改良に係 る都市計画決定（都計道3・4・1国 道330号）
R1	まちづくり会社設立支援、拠点施設（広 場）等の検討（胡屋）		
R2	地区計画等の検討（胡屋）	本市の沿道まちづくりと連携した交通結節点の重要性を 確認 → 沖縄市としては「胡屋」	改正道路法（R2.11施行） ▶ 民間と連携した新たな交通結節点 づくりの推進など
R3	交通・回遊機能等の検討（胡屋） ▶ リニアバスターミナルを見直し、胡屋とコザで 機能分担を図る	『連携計画』の改定 ▶ 基幹バスの交通結節点（沖縄市）は、「沖縄市の国 道330号胡屋地区沿道まちづくりと連携した交通結節 点を形成」	『交通拠点の機能強化に関する計画 ガイドライン』発出（R3.4）
R4	基本構想（案）の検討整理 ▶ 胡屋バスターミナルを中心に、交通・回遊 を踏まえた具体の取り組み方針等を整理		令和4年度管内交通結節点機能強 化調査検討業務 ▶ 計画段階に向け概略検討を実施

参考：沿道まちづくりビジョン（案）（沖縄市）

- 本市では、「**沿道まちづくりビジョン（案）**」を作成しており、基本方針として、「**【交通・回遊】KOZAからモビリティを変えていく**」とし、マイカーから多様な移動手段へのシフト、**基幹バスの運行を踏まえた、コザの回遊性向上**を位置づけております。

まちの将来像
～持続し体たけあき未来像～

古き良き KOZA の魅力を継承しながら
変化に柔軟に対応していく沿道まちづくり
KOZA PRIDE STAGE

基本方針
～将来像の実現に向けて～

経済活力

KOZA からコンテンツを生み出す

- ① 既存ストックをうまく活かしながら、“働きたい” “訪れたい” と人が集う、新たなまちの魅力・雇用を創出する。
- ② 「社会が求めている事業者」が集う舞台を目指し「若者」や「よそ者」もチャレンジしやすい環境を整える。

コザ文化

KOZA らしさを継承する

- ① 新しいものや異なるものを柔軟に受け入れてきたウェルカム精神との中で育まれた独自の音楽・食文化を継承する。
- ② コザらしさ香る国際色豊かな空間を継承する。

交通回遊

KOZA からモビリティを変えていく

- ① マイカーから多様な移動手段へのモーダルシフトを促し、コザの回遊性を向上させる。
- ② 駐車場空間の効率的なマネジメントによる既存駐車場の有効活用を図る。

中期（国道 330 号拡幅・基幹バス開通後）

変化に柔軟に対応しながら KOZA の魅力を継承
（既存ストックの有効活用）

- ・ 国道 330 号の拡幅、基幹バスの運行にあわせ、将来変化を見据えた建替え、建物リノベーション、空地活用の実施

中期（国道 330 号拡幅・基幹バス開通後）

- ・ 既存ストックの有効活用等に合わせた暫定的、柔軟なルールなど

まちのルール
車いす・自転車ルール

用途の制限
1 階部分は店舗やカフェテラスにする等による賑わいの創出

敷地規模
コンテナや移動販売の簡易店舗等の暫定利用は許可する

空間資源の有効活用
歴史的な賑わいを創出するため、簡易店舗等による有効活用

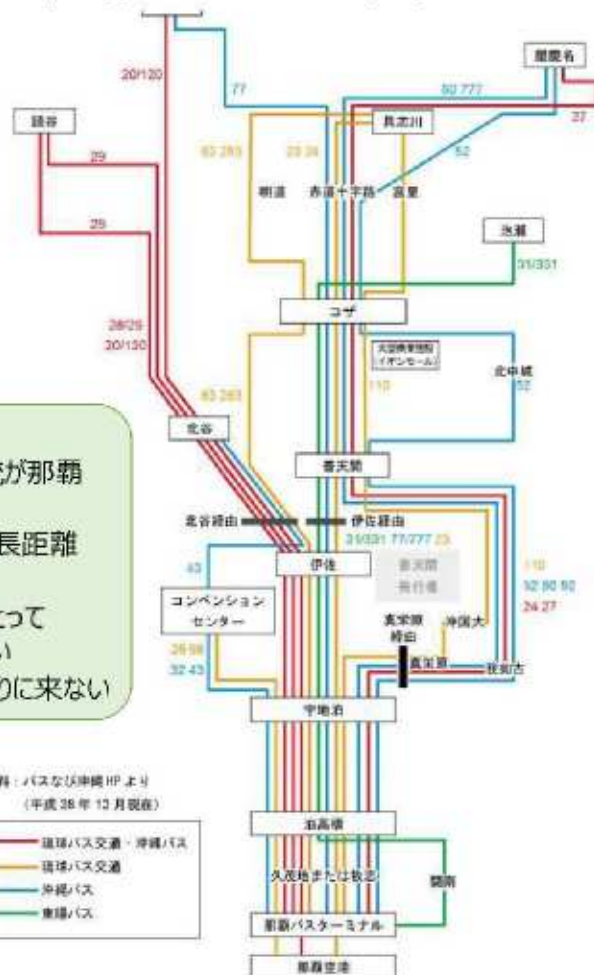
空間の居心地
ベンチやテント等を設置し、憩いの空間の創出に努める

空間でのコンテンツの提供
リノベーションなど、賑わいを創出するための有効活用

参考：基幹バス構想（沖縄県）

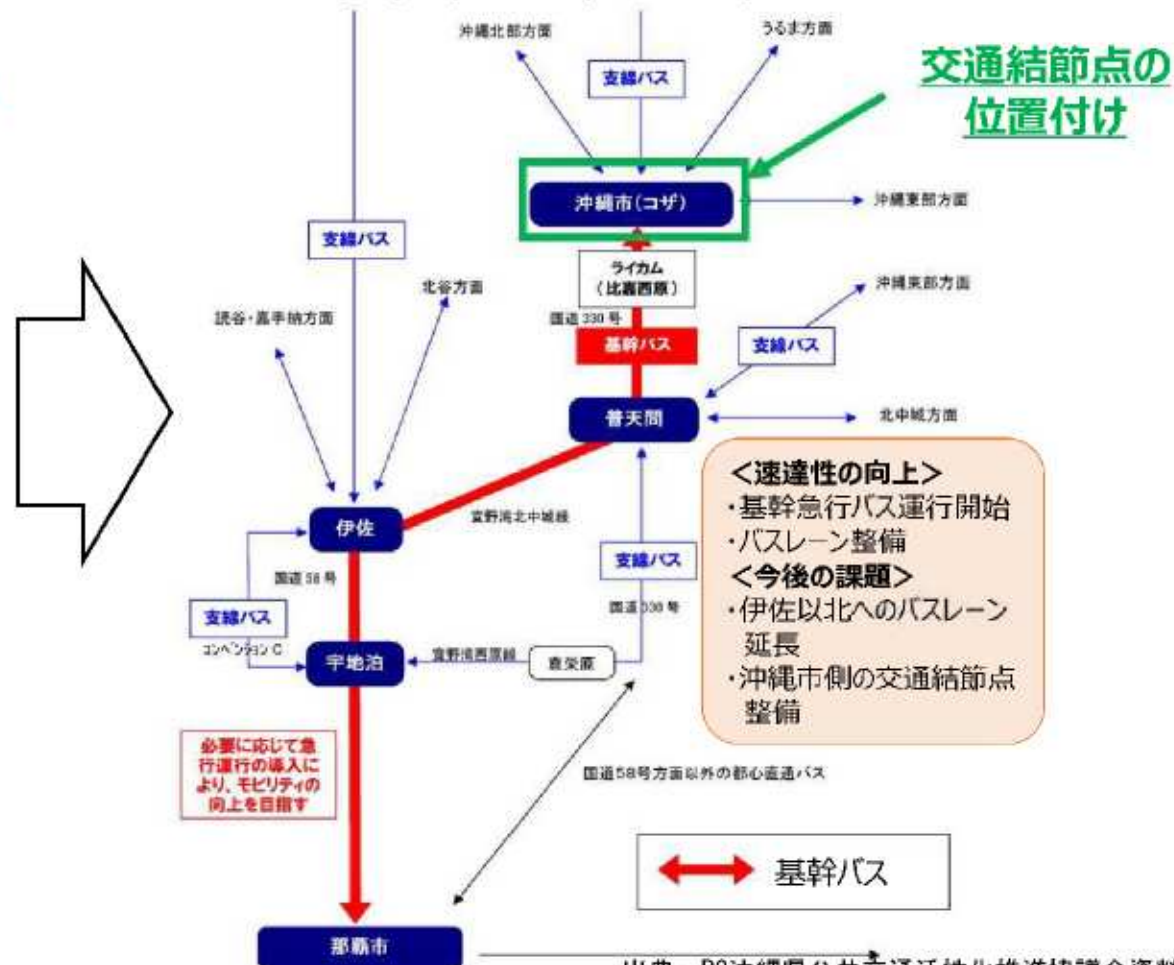
- 沖縄県では、県内路線バスの課題へ対応すべく、バス網の再構築を推進するため基幹バスシステムを導入し、**沖縄市側の交通結節点整備に取り組む必要がある**としております。

【現況】複雑、一部過剰供給



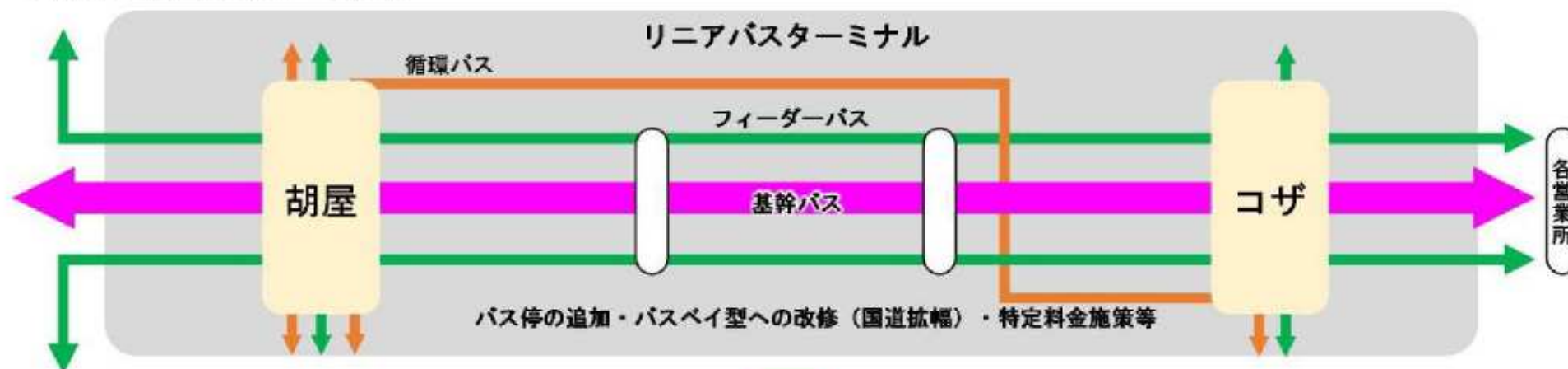
<現状>
 ・多くの系統が那覇まで運行
 ・複雑かつ長距離
<課題>
 ・利用者にとってわかりにくい
 ・時刻表通りに来ない

【将来】幹線軸とフィーダー役割分担

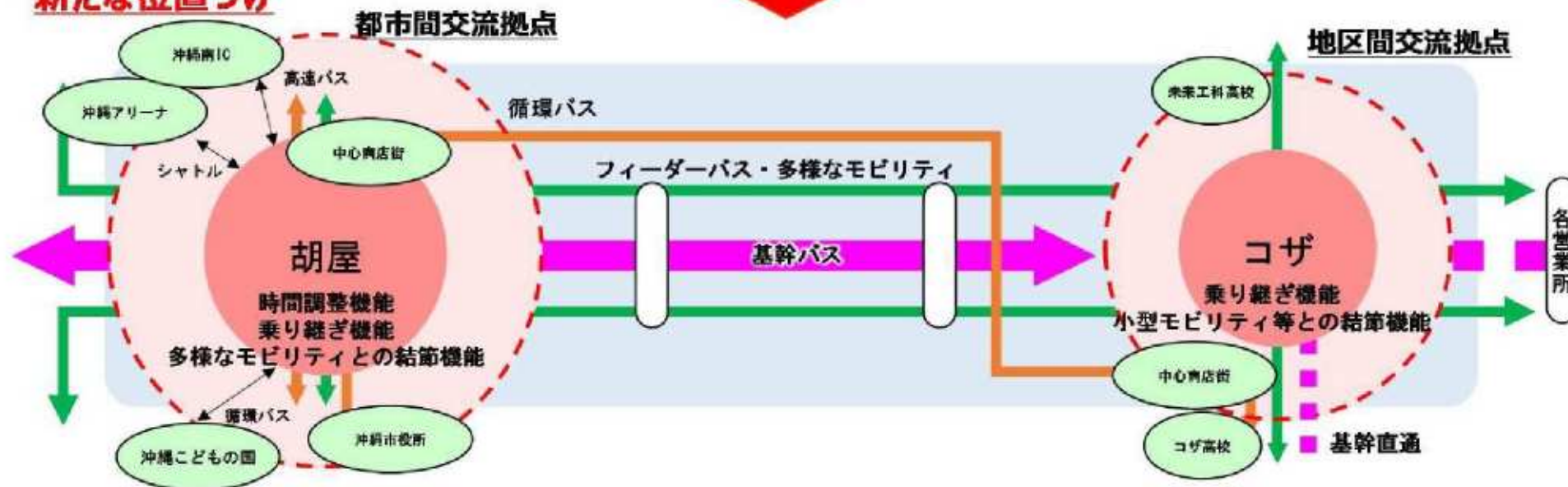


参考：沖縄市における交通結節点の新たな位置づけ

これまで（リニアバスターミナル）



新たな位置づけ



参考：バスタプロジェクトの推進（道路法の改正）（国）

特定車両停留施設

- 交通混雑の緩和や物流の円滑化のため、バス・タクシー・トラック等の事業者専用の停留施設を道路附属物として、新たに位置付け
 - 施設運営については、コンセッション（公共施設等運営権）制度の活用を可能とする

事業者専用の道路施設の構築

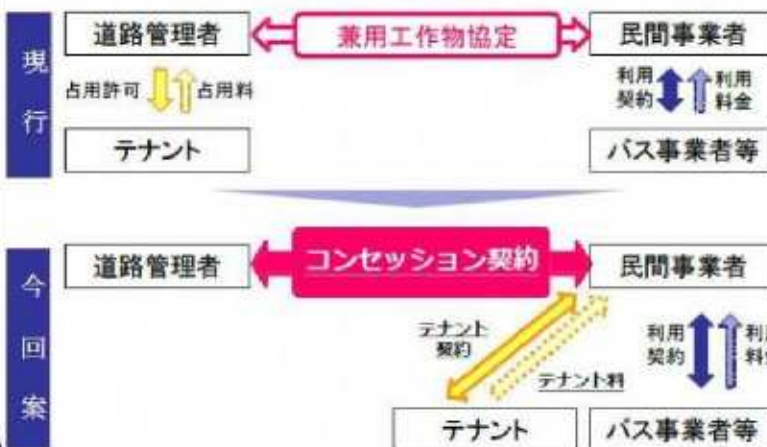
- バス、タクシー、トラック等を停留させるための「特定車両停留施設」を、新たに道路附属物として位置付け
 - 道路管理者が停留料金を徴収できることとする 等



維持管理・運営における民間ノウハウの活用

- 特定車両停留施設に「コンセッション（公共施設等運営権）制度」の活用を可能とする
 - 運営権者が利用料金を収受できることとする
 - 協議の成立（契約の締結等）により占有許可とみなす 等
- * 収入の多様化により民間事業者の参入が容易に

＜集約公共交通ターミナル(バスタ)における事業スキームイメージ＞



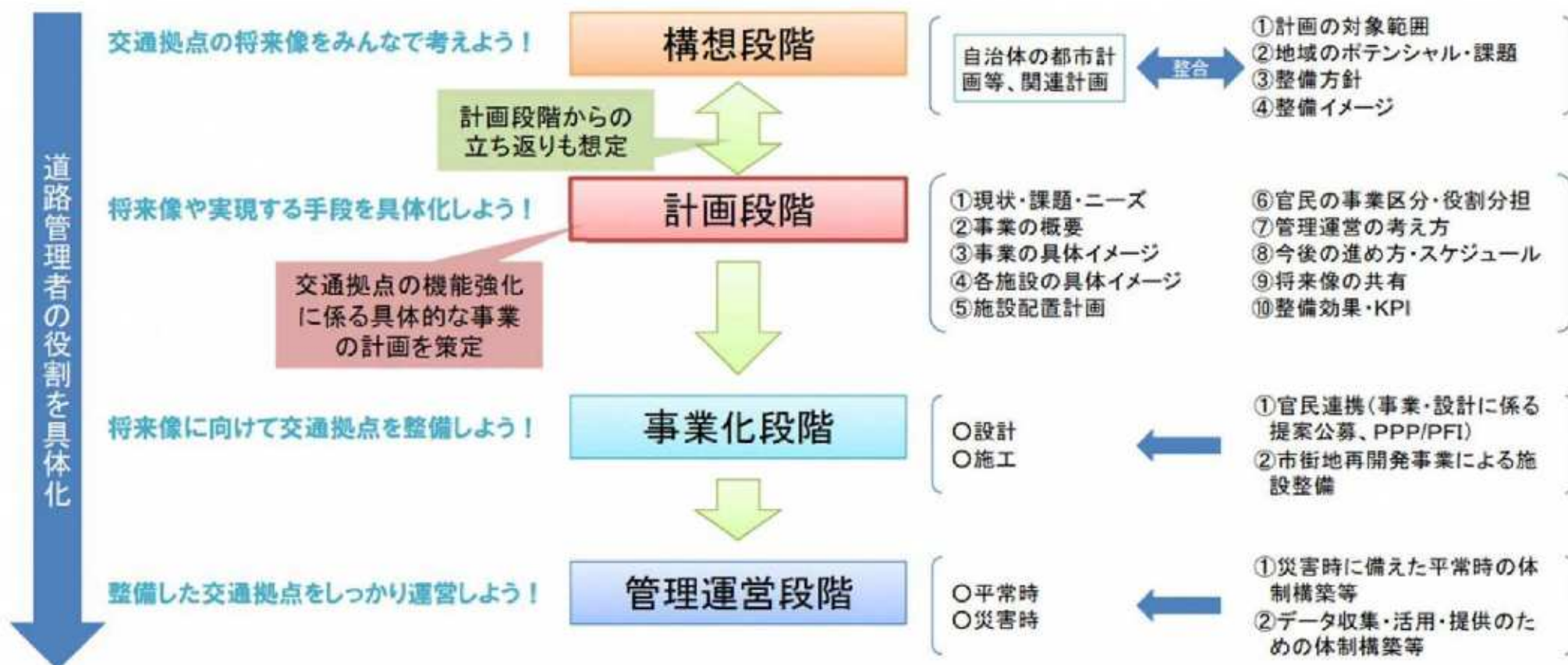
参考：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（国）

- バスタプロジェクトは、道路管理者が主体となって行う**集約型公共交通ターミナルの整備・マネジメント**を行い、地域における課題を解決するとともに、**みち・えき・まちが一体となった新たな空間**の創出により、**道路ネットワークの機能を最大限発現**し、地域の活性化や災害対応の強化、生産性の向上の実現を図る未来志向の新たな取り組みです。



参考：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（国）

- 交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインでは、交通拠点の検討から事業実施までの流れを、「**構想**」、「**計画**」、「**事業化**」、「**管理運営**」の4つの段階に整理しています。
- 沖縄市は現在構想段階であり、**交通拠点整備基本構想を検討**していきます。



令和3・4年度の取組内容

- 令和3・4年度で検討した内容について説明
-

- ・ 沖縄市では令和3・4年度において、以下の整理を行いました。以下の内容について、一部抜粋して、次ページ以降で紹介します。

令和3年度	令和4年度
(1) 地域のポテンシャル・課題	(1) 地域住民等との意見交換会等の実施
(2) 課題を踏まえた整備方針	(2) アンケート調査の実施
(3) 整備方針及び交通結節点の機能イメージ	(3) 構想（案）の検討
(4) 都市間交流イメージ	(4) イメージパースの作成
(5) 胡屋交通結節点を中心とした回遊イメージ	
(6) 交通結節点内の配置（案）	
(7) 交通結節点により想定される波及効果	
(8) イメージパース	
(9) 令和4年度以降のスケジュール（案）	

(1) 地域のポテンシャル・課題

沖縄市胡屋地区における交通の現況

【現況】

- ・ 胡屋十字路周辺は、三大都市圏に近い渋滞傾向にある。
- ・ 市民は沖縄本島中南部都市圏よりも車利用の割合が多い。
- ・ 本市の自動車保有台数は増加。
- ・ 胡屋バス停は路線バス利用者が市内で最も多く、通過する系統が集中。
- ・ 市全域を運行している循環バスが、胡屋地区を經由。
- ・ 胡屋地区周辺には沖縄南ICが位置している。
- ・ 市民は路線バス利用も念頭にある一方、バス利用は利便性に問題があるとの認識。

まちづくり・活性化(交通視点からの整理)

居住

【ポテンシャル】

- ・ 市の人口は増加傾向。
- ・ 胡屋地区の人口は近年微増の傾向。
- ・ 本地区は、昭和56年以前の建物(更新時期の建物)が多く、新築も数件みられる。
- ・ 本市は中心市街地の居住促進事業を実施。
- ・ 土地区画整理事業を実施。

【懸念事項】

- ・ 居住環境向上による人口の増加、自動車保有台数の増加による市内の交通渋滞の悪化。
- ・ 渋滞回避車両の生活道路への流入による、事故の増加。
- ・ 高齢化の進展に伴う、事故の増加。

【課題】

- ・ 公共交通利用促進。
- ・ 生活道路への通過交通対策。

商店街活性化・集客施設との連携

【ポテンシャル】

- ・ 胡屋地区は市内商店街の内、営業店舗数が最も多く、新規出店も見られる。
- ・ 来訪目的として飲食が目立ち、歩行者数が高商店街より多い。
- ・ 商店街は多様な来訪目的の受け皿となっている。
- ・ 胡屋地区商店街と沖縄アリーナで連携した取り組みが実施されている。
- ・ 集客施設(観光含む)が周辺に立地。
- ・ 中の町と一番街の回遊性を確認。

【懸念事項】

- ・ 車(レンタカー)での来訪が多くなることによる、交通渋滞の悪化。
- ・ 駐車場を探す際のうろつき交通発生による、事故の増加。

【課題】

- ・ 公共交通利用促進。
- ・ 周辺施設移動支援。(シェアサイクル、小型モビリティ等)
- ・ 居心地がよく歩きたくなるまちなかの推進。

【今後考慮していく視点】

・ユニバーサルデザイン ・高齢、障がい福祉 ・景観 ・防災 ・ICT技術等 ・交流 ・ゼロカーボンシティ

(2) 課題を踏まえた整備方針

※令和4年度検討の中で更新されています。

●地域のポテンシャルに対する課題

- ・公共交通利用促進。
- ・生活道路への通過交通対策。
- ・周辺施設移動支援。(シェアサイクル、小型モビリティ等)
- ・居心地がよく歩きたくなるまちなかの推進。

●沖縄市（胡屋地区）の移動・交通に関する課題

- (人の移動)
- ・平日の通勤・通学目的の人を取り込む取組や、休日の来訪者を増やすための取組が必要です。
 - ・広域からの来訪者を増やすための取組が必要です。
 - ・施設間で連携し胡屋地区へ人を取り込むための取組が必要です。
 - ・滞在時間を増やすための取組が必要です。
- (自動車交通)
- ・約600本/日以上以上のバスを効率的に乗降する空間(対策)が必要です。
 - ・自動車利用を低減するため、公共交通の利便性を向上させ、自動車から公共交通へ転換させるための取組が必要です。
 - ・モビリティ・マネジメント等、送迎交通を低減させるための取り組みが必要です。
- (公共交通)
- ・バスを利用してもらうため、バスの利便性を上げる取り組みが必要です。
 - ・乗り継ぎの利便性を高めるための取組が必要です。
 - ・快適な待合空間創出のための取組が必要です。
 - ・バス利用圏域を広げるため、移動手段の支援等の取組が必要です。
 - ・乗り継ぎの利便性を向上するための取組が必要です。
 - ・タクシーの利便性向上のための取組が必要です。
- (歩行者・自転車交通)
- ・自転車の走行空間確保の取り組みが必要です。
 - ・快適な歩行空間創出のための取組が必要です。
 - ・まちの賑わい創出に向け、道路空間を有効、安全安心に活用するための取組が必要です。

●上位関連計画での位置づけ

- ・基幹バスと関連した交通結節点として位置付けられています。
- ・道路ネットワークの重要な拠点となっています。
- ・まちの中心として、景観的に配慮が必要な地区として位置付けられています。

●関連施策の動向・先進事例等

- ・「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出に向けて、様々な制度が創出され、官民連携した取り組みが進められています。

【全体方針】KOZAのまちの賑わい、魅力の創出

【方針①】 胡屋地区商店街における多様な都市活動を促す拠点の構築

【方針②】 都市圏の中心地区としての交通機能高める拠点の構築

【方針③】 地域へのアクセス性、回遊性を高める持続可能な交通環境の実現

【方針④】 沖縄市の顔となる魅力ある空間の創出

【方針⑤】 地域の安全安心を支える防災機能の強化

(3) 整備方針及び交通結節点の機能イメージ

※令和4年度検討の中で更新されています。

- 地域のポテンシャルや課題を踏まえ、5つの整備方針と機能（案）を整理しました。

【方針①】胡屋地区商店街における多様な都市活動を促す拠点の構築

【方針②】沖縄本島中南部の中心地区として交通機能を高める拠点の構築

【方針③】地域へのアクセス性、回遊性を高める持続可能な交通環境の実現

【方針④】沖縄市の顔となる魅力ある空間の創出

【方針⑤】地域の安全安心を支える防災機能の強化

(4) 都市間交流イメージ (案)

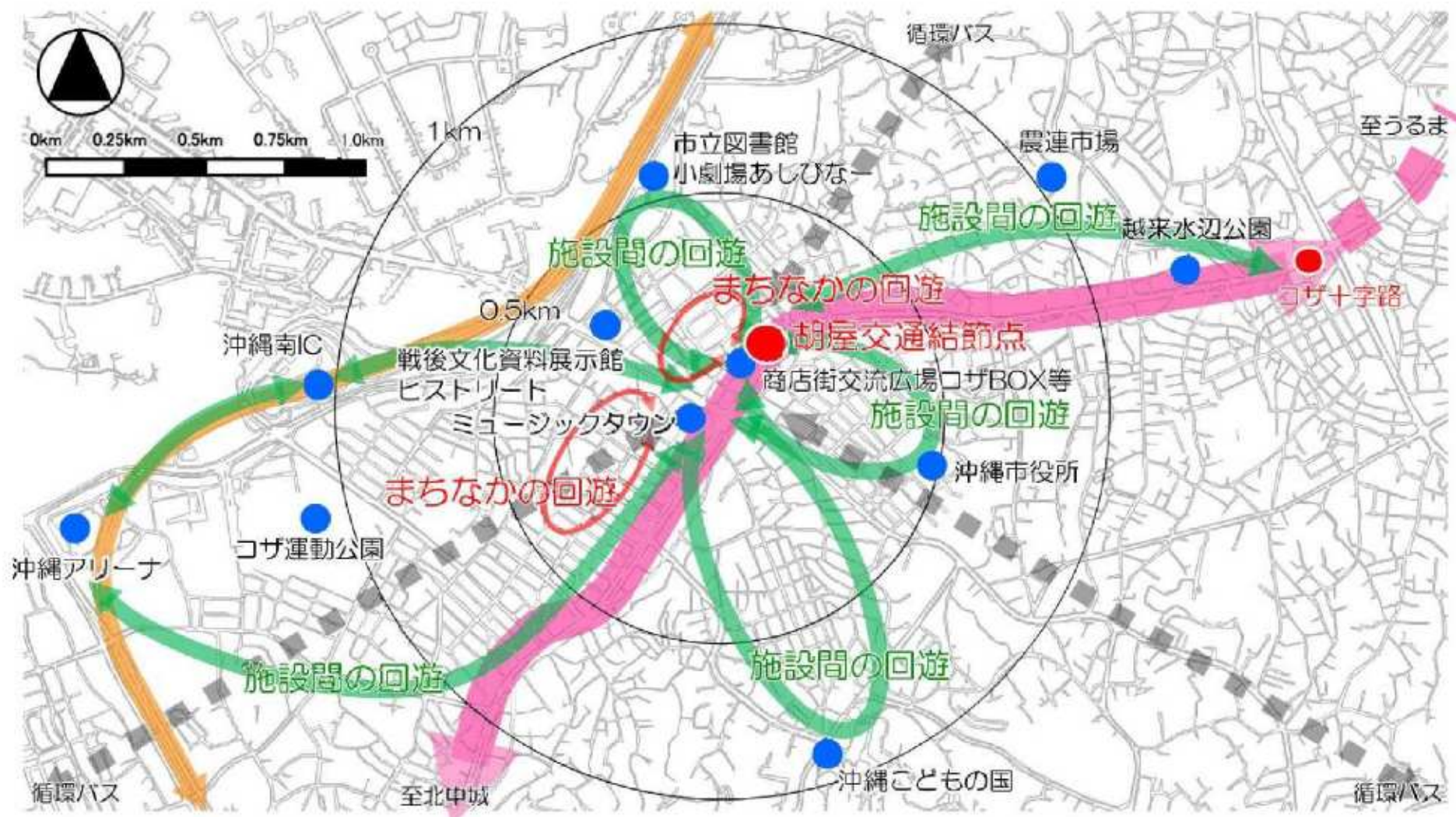
※令和4年度検討の中で更新されています。

- 沖縄市胡屋の交通結節点を中心に、周辺都市や施設との交流イメージを整理しました。



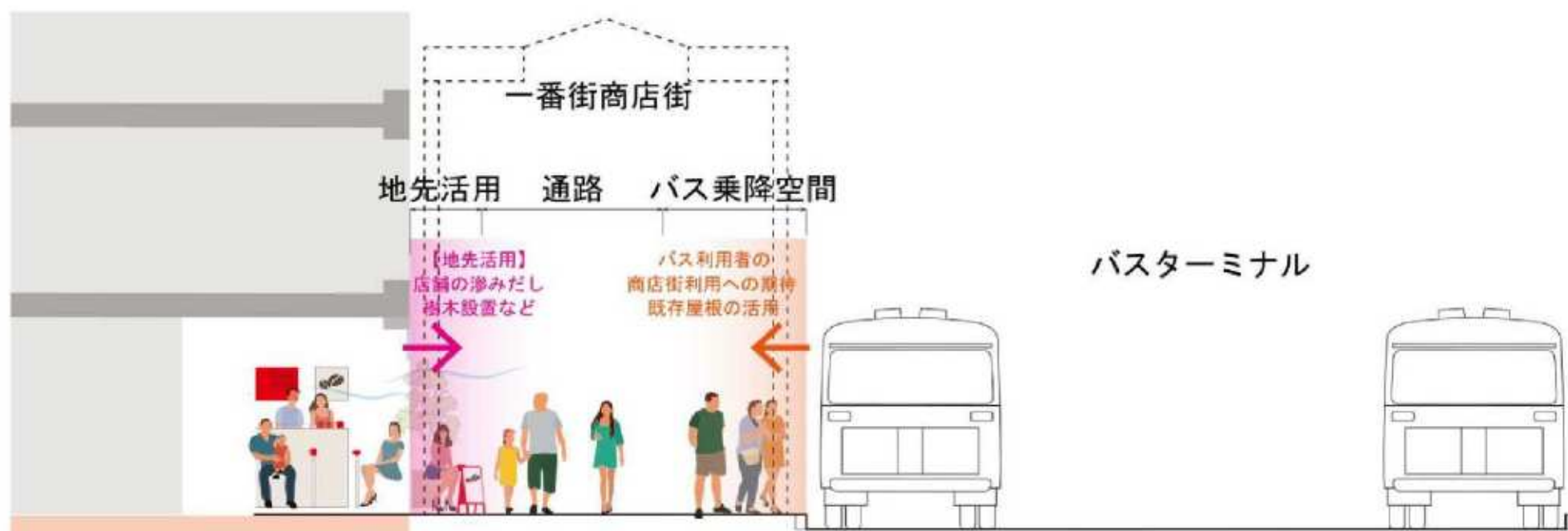
(5) 胡屋交通結節点を中心とした回遊イメージ ※令和4年度検討の中で更新されています。

- 沖縄市胡屋の結節点を中心とした回遊イメージを整理しました。



（６）交通結節点内の配置（案）

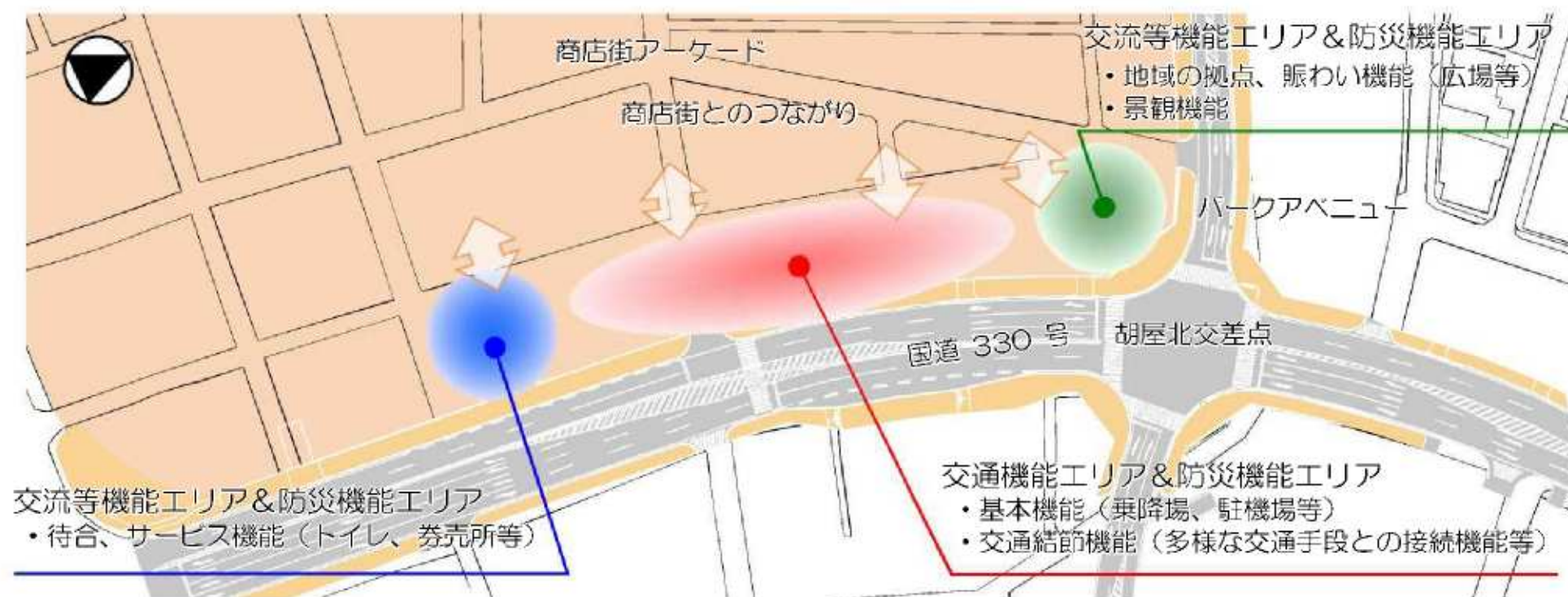
- 商店街とのつながりを見据え、乗降場は商店街に面した位置が望ましいと整理しております。
- 商店街の店舗が、バスを待つ方やバスに乗っている方の目にとまることで、店舗の認知や周知、ちょっとした待ち時間での買い物、飲食等が期待されます。



（6）交通結節点内の配置（案）

※令和4年度検討の中で更新されています。

- 交通結節点内の配置案について整理しました。
- 国道拡幅事業に伴い発生した残地と、商店街の一部を利用し、ターミナルを整備するイメージです。
- 既存商店街とのつながりを持たせながら、待合所や乗降場、交流施設である広場を整備することで、まちのにぎわいを創出していくことが狙いです。



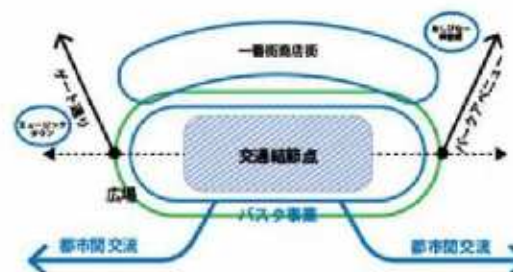
(7) 交通結節点により想定される波及効果

- 交通結節点の整備による、まちづくりに期待される波及効果イメージを整理しました。

①結節点整備によるまちづくりへの波及効果のイメージ図

STEP1:「点」 都市間交流拠点(交通結節点)の整備

交通結節点整備により、商店街に都市間交流拠点(広場や防災拠点等も含む)が生まれる。



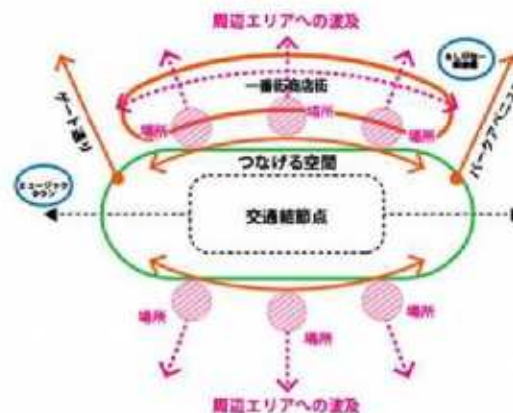
STEP2:「線」 広場(交流拠点)と商店街の回遊性向上・ウォーカブルの促進

広場が「バスでの来訪者と商店街をつなげる空間」として活用されることで、人と人との交流が生まれ、拠点間の移動が発生し、商店街エリアの回遊性向上・ウォーカブルの促進が期待される。



STEP3:「面」 魅力的な場所づくり、周辺エリアへの波及

広場の通り沿いでは、商店街の活動が先に活性化され、通り沿いに魅力的な場所が生み出されていく。その魅力的な場所を中心に様々な移動や滞留、交流がさらに生まれ、周辺居住エリアへの波及やつながりが生み出されていく。



(8) イメージパース

(※下記のイメージは案であり、決定したものではありません。)

- 商店街アーケードに面した乗降場より、ヒトの流れや賑わいが生まれるイメージです。
- 国道330号沿いの商店街は、交差点改良事業が行われており、当該事業で発生した残地と、商店街の一部を利用し、ターミナルを整備するイメージです。
- バスやタクシーの他、自転車、電動キックボード等、様々な交通手段へ乗り継げる要所となり、市民、県民、観光客らが往来し、中心市街地が活気づくイメージです。

■ 商店街側から見たバスターミナルのイメージ

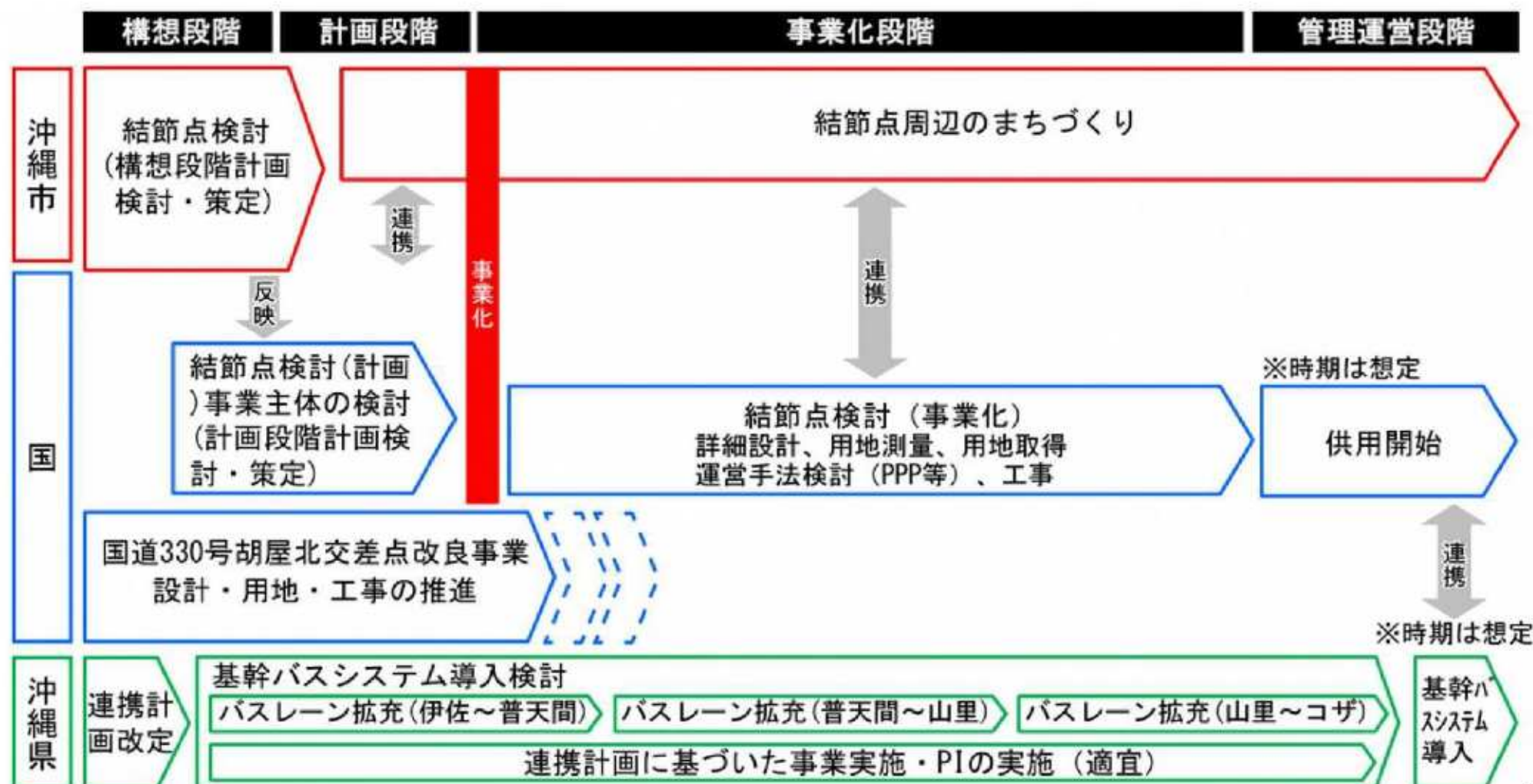


■ 国道330号歩道側から見たバスターミナルのイメージ



(9) 令和4年度以降のスケジュール (案)

- 結節点整備に向けた令和4年度以降のスケジュール (案) を整理しました。



(1) 地域住民等との意見交換会等の実施

ワークショップの開催概要

タイトル : バスターミナル×KOZAのまち ～一緒に考えてみませんか～

日時 : 令和4年9月20日(火) 19:00～21:00

場所 : 沖縄市役所 地下2階 大ホール

目的 : バスターミナルの整備をきっかけに、KOZAの未来を地域住民と共に考え、合わせて実施すべき効果的な事業を見出す

対象者 : 沖縄市内にお住まいの方、働いている方、通学している方(高校生以上)

参加人数 : 22名



(1) 地域住民等との意見交換会等の実施

参考：ワークショップでのアイデア整理

ワークショップでのアイデア（※一部文書を要約。また、重複内容は集約。）		分類	
使いやすいターミナル、誰でも分かりやすいアナウンス・サイン、ユニバーサルデザイン、渋滞の解消、皆が移動しやすい交通環境の実現	▶	基本機能	基本機能
駐車場（P & R）、道の駅、代行ステーション	▶	駐車場等	交通結節機能
タクシー乗り場、大型車（観光バス、運搬車両等）の待機場所、バス停の増設	▶	乗降場所・車両待機場所	
中部観光地を繋ぐバス拠点、高速バスとの乗り継ぎ、ターミナルに行けば何とかなる！、中間拠点・第二の那覇	▶	広域・地域拠点機能	
シャトルバス、循環バス、乗合タクシー、インラインスケート（シェアリング）、水路移動（船）、セグウェイ、トゥクトゥク、レンタサイクル、マイクロモビリティ（高齢者）、鉄軌道（ケーブルカー、路面電車、モノレール）	▶	多様な交通手段	
バスの無料バス、ペDESTリアンデッキ	▶	その他	地域の拠点・賑わい機能
銭湯・サウナ、ホテル	▶	滞在時間を増やす施設	
販売店、飲食店、お土産屋、若い人が来るお店、キッチンカー、大学、伝統・歴史資料館、国際交流の場、ライブハウス、市内の人が集まる場所、託児所、ケアスペース、オフィスエリア（モバイルP.Cスペース、レンタルオフィス）、自習室、公民館・自治会館、他にないモノ、ここにしかないモノ、ここに来ればなんでもかなう地域拠点の創出、大人の居場所	▶	目的地となる施設	
まちに拠点を支える機能を備える（住む人を増やす等）	▶	住環境の整備	
人もおもしろいKOZA、色んな属性の人がいるまち、色んな人が生きていけるまち！、レトロな空間、歩いて楽しめるまち、国際通りのような空間、イベントの興奮そのまま・まちを楽しみたい、治安向上のための交番、今あるものを活用して魅力的な異空間コザ、ライカムに負けない魅力を伝える、一番街商店街の活性化、街灯の整備、アミューズメント的な空間	▶	まちの雰囲気づくり	サービス機能
広場（休憩所、緑空間、大屋根）、トイレ	▶	オープンスペース	
観光ツアー	▶	その他	
インフォメーションセンター（アクセス案内、観光案内、地域情報等）、案内表示（ターミナルからどこへ行けるか、観光、ホテルの空き部屋情報など）、乗り継ぎアプリ	▶	情報提供	サービス機能
エアコンの効いた待機所	▶	待合空間	
全ての看板がネオン、沖縄市の玄関口にふさわしい道路景観、写真映えスポット	▶	景観機能	景観機能

(2) アンケート調査の実施

- 交通結節点に関する意見を収集するため、関係者意見を踏まえ、沖縄市民、県民、バス停利用者を対象としたアンケート調査を行いました。

庁内連絡会・構想検討会での意見	調査内容	調査対象想定	調査方法
(構) 自宅から歩いてやるのが何なのか、どのような目的、距離感だったら歩いてくれるのかがあると、現実的な道筋ができるのではないかな	地区での調査で確認しているが、聞いた方が望ましい	胡屋周辺地域住民	A. 胡屋周辺地域住民へのアンケート
(構) 普段どのような移動で、どこに移動しているのか把握できると良い			
(庁×他3人) バスタ機能は、実際のバス利用者に聞くことも望ましい。そうするとアンケートを市外等にも実施するほうが望ましいのではないかな	バスタの機能と周辺を回遊したくなる機能	胡屋バス停の利用者	D. 胡屋バス停利用者ヒアリング (現地での聞き取りアンケート)
(庁) 世帯主だけでなく実際にバスを利用するであろう高校生など若い人にもSNS等を活用してアンケートができると良い		胡屋バス停の利用者(学生)	
(構) バスを利用している人や車利用来訪者の意見も重要なのでは		胡屋バス停の利用者	
		車で本地域に来ている人	
(構) 将来的なことを考えると若年層の意見も重要では		胡屋バス停の利用者(若年層)	D. 胡屋バス停利用者ヒアリング (現地での聞き取りアンケート)
		将来的に胡屋バスタを利用するであろう若年層	実施不可(対象の抽出が困難)
【その他沖縄市内部意見】 施設利用者へのアンケート	バスタの機能と周辺を回遊したくなる機能	アリーナ、こどもの国、市民会館、市役所等へ来たことがある人	C. 対象施設へ来たことがある人へのアンケート

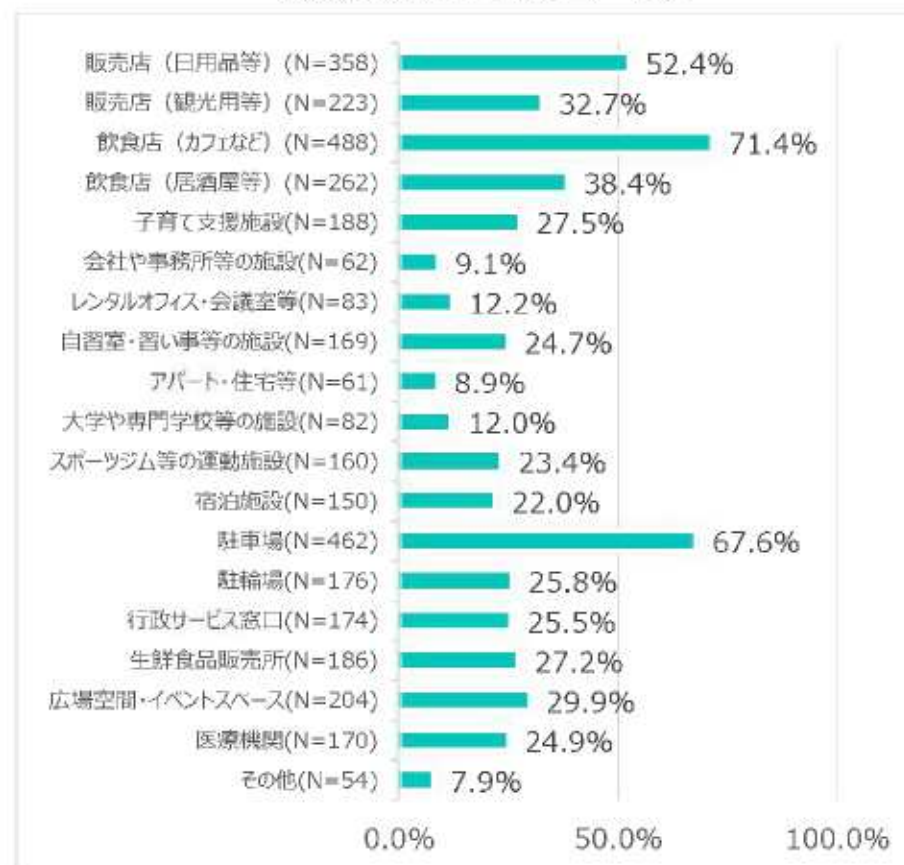
(2) アンケート調査の実施

- 沖縄市民を対象としたアンケートの一部より、バスターミナルへのニーズとして、「行き先が分かりやすく、安全な乗り降り場」が最も多く、賑わい創出のニーズとして、「飲食店（カフェなど）」が最も多くなっています。

【バスターミナルへのニーズ】



【賑わい創出のニーズ】



(3) 構想 (案) の検討

- 令和4年度において、沖縄市では交通拠点整備基本構想 (案) として、(仮称) 胡屋バスターミナルの機能、4つの方面での取り組み方針等を整理しました。

○交通結節点及び方面別の取り組み方針の整理

沖縄市中心市街地活性化基本計画 基本方針 (※第3期検討中)

- (1) 歴史文化やまちの個性、人々を魅了するエンターテインメントの力をいかしたにぎわいづくり
- (2) 地域・住民・来訪者にとって快適で良好なまちづくり

交通拠点整備基本構想 (案)

本基本構想では、胡屋バスターミナルを中心としたまちづくりの基本方針、バスターミナルの機能を整理しました。

将来像：KOZAのみんなで作る、活力に満ちたまち

【方針①】だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

【方針②】まちとまちとの結びつきを強くする場づくり

【方針③】まちなかの結びつきを強くする場づくり

【方針④】KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

【方針⑤】より安全で安心なまちづくり

① 沖縄アリーナ方面

- ・ スポーツを楽しむ、盛り上げる環境の創出
- ・ まちの個性 (商業・文化・歴史) をいかしたにぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

② 沖縄こどもの国方面

- ・ 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

胡屋バスターミナル機能

【基本機能】

【交通結節機能】

【防災機能】

【地域の拠点・賑わい機能】

【サービス機能】

【景観機能】

③ 一番街・八重島方面

- ・ まちの個性 (商業・文化・歴史) をいかしたにぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出
- ・ 市の玄関口にふさわしい空間の創出

④ 沖縄市役所・コザ方面

- ・ まちの個性 (商業・文化・歴史) をいかしたにぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

(3) 構想(案)の検討

○沖縄市交通結節点整備に向けた方針及び取組(案)の更新

【方針①】だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

- ・沖縄市の商業の中心である胡屋地区（一番街商店街地区、中央パークアベニュー地区、コザゲート通り地区）において多様な人が訪れ、魅力的な空間を心地よく歩き、つどい、たたずむことができる拠点の構築を図ります。

取組み(案)

○地域の魅力向上

- ・より長く滞在してもらえる場所の創出
- ・魅力を感じて訪れてもらえる場所の創出
- ・住みたいと思う人が暮らせる場所の創出
- ・交流、憩いの場の創出
- ・地域イベントにも活用できる空間の創出
- ・商店街の道路空間を活用した魅力の創出

【方針②】まちとまちとの結びつきを強くする場づくり

- ・本島中南部の一体性を高める社会インフラとして位置づけられている基幹バスシステムと連携し、沖縄本島全体が抱える交通課題への改善や、交流機会の創出につながるよう、交通拠点機能の構築を図ります。

取組み(案)

○都市間のアクセス機能の向上

- ・那覇市と沖縄市を結ぶ軸となる基幹バスシステムとの連携
- ・路線バス、観光バス、高速バス、タクシー等との連携
- ・まちづくりと連携した駐車場施策の促進
- ・行先が分かりやすい乗降場、上屋、待合所、デジタルサイネージ、インフォメーションセンター等の整備

【方針③】まちなかの結びつきを強くする場づくり

- ・地域内のアクセス性、回遊性を高めるため、様々な交通手段との乗り継ぎ機能の強化を図り、誰もが移動しやすい環境の構築を図ります。

取組み(案)

○地域内の回遊性向上

- ・バス（路線、循環、シャトル）、タクシー、その他交通手段（シェアサイクル、高齢者用乗り物、観光用乗り物等）との連携
- ・歩いて楽しい（ウォークアブル）空間の創出
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進

【方針④】KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

- ・南北の商業景観軸と東西の交流景観軸が交わる沖縄市の顔となる地域として、KOZAの歴史や文化を感じることが出来る空間の創出を図ります。

取組み(案)

○沖縄市が持つ個性的な空間づくり

- ・国際色豊かな街並みの形成
- ・KOZAが感じられる空間の形成
- ・沖縄市の玄関口にふさわしい空間の形成
（国道330号、パークアベニュー、ゲート通り等）

【方針⑤】より安全で安心なまちづくり

- ・訪れやすい安全で安心な環境づくりを目指します。また、災害時における防災情報などが取得できる環境づくりを目指します。

取組み(案)

○防災・防災機能の向上

- ・防災情報（警報、注意報等）や交通機関の運行情報等の情報発信
- ・一時避難所としての待合所・広場の活用
- ・安全・安心なまちの創出（防災・交通安全）
- ・沖縄アリーナとの連携
- ・Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- ・無電柱化

(3) 構想(案)の検討

○都市間交流イメージの更新



(3) 構想(案)の検討

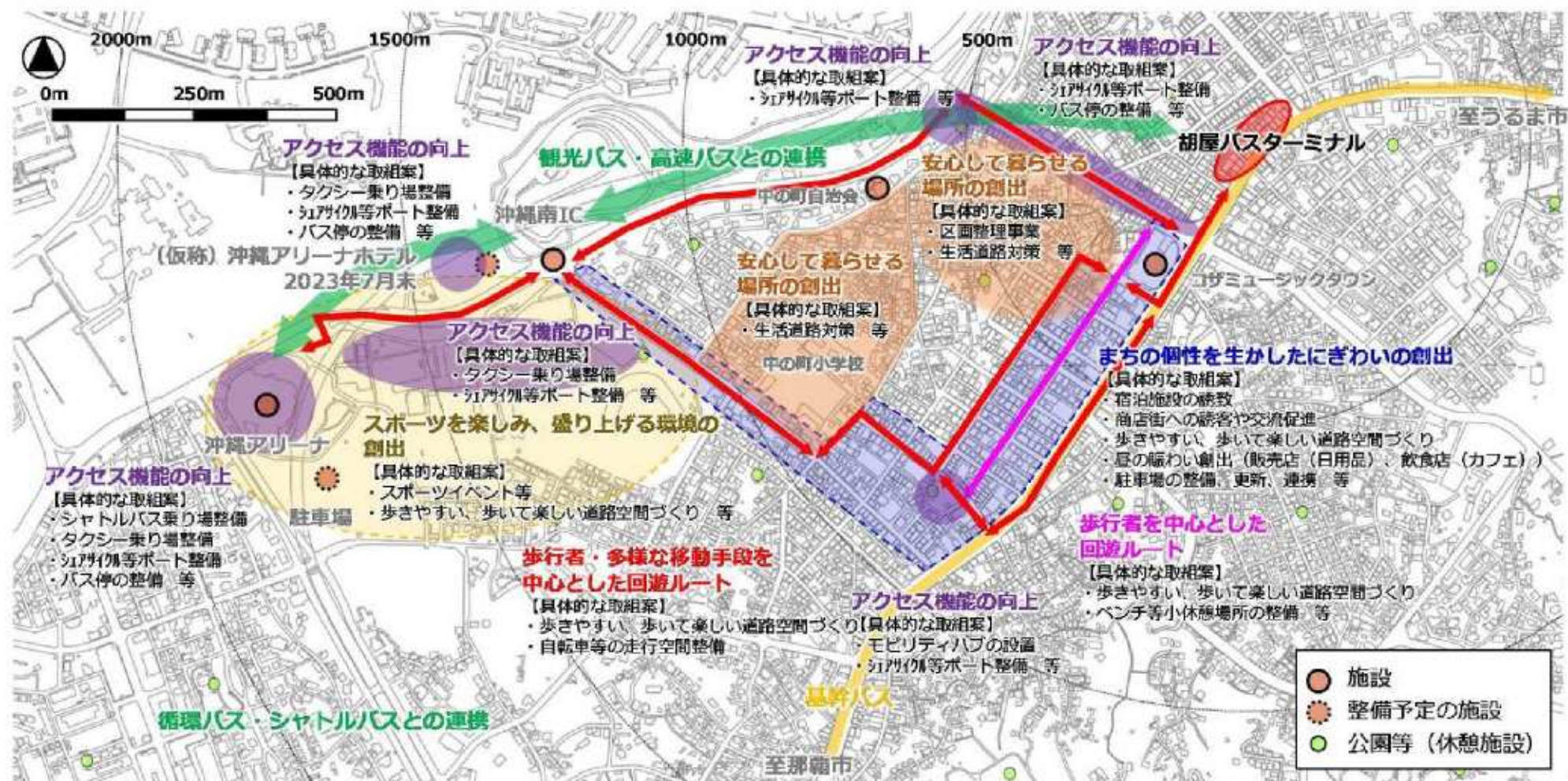
○交通結節点を中心とした回遊イメージの更新



① 沖縄アリーナ方面

1. スポーツを楽しむ、盛り上げる環境の創出、
2. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

・ 沖縄アリーナ方面における3つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



② 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

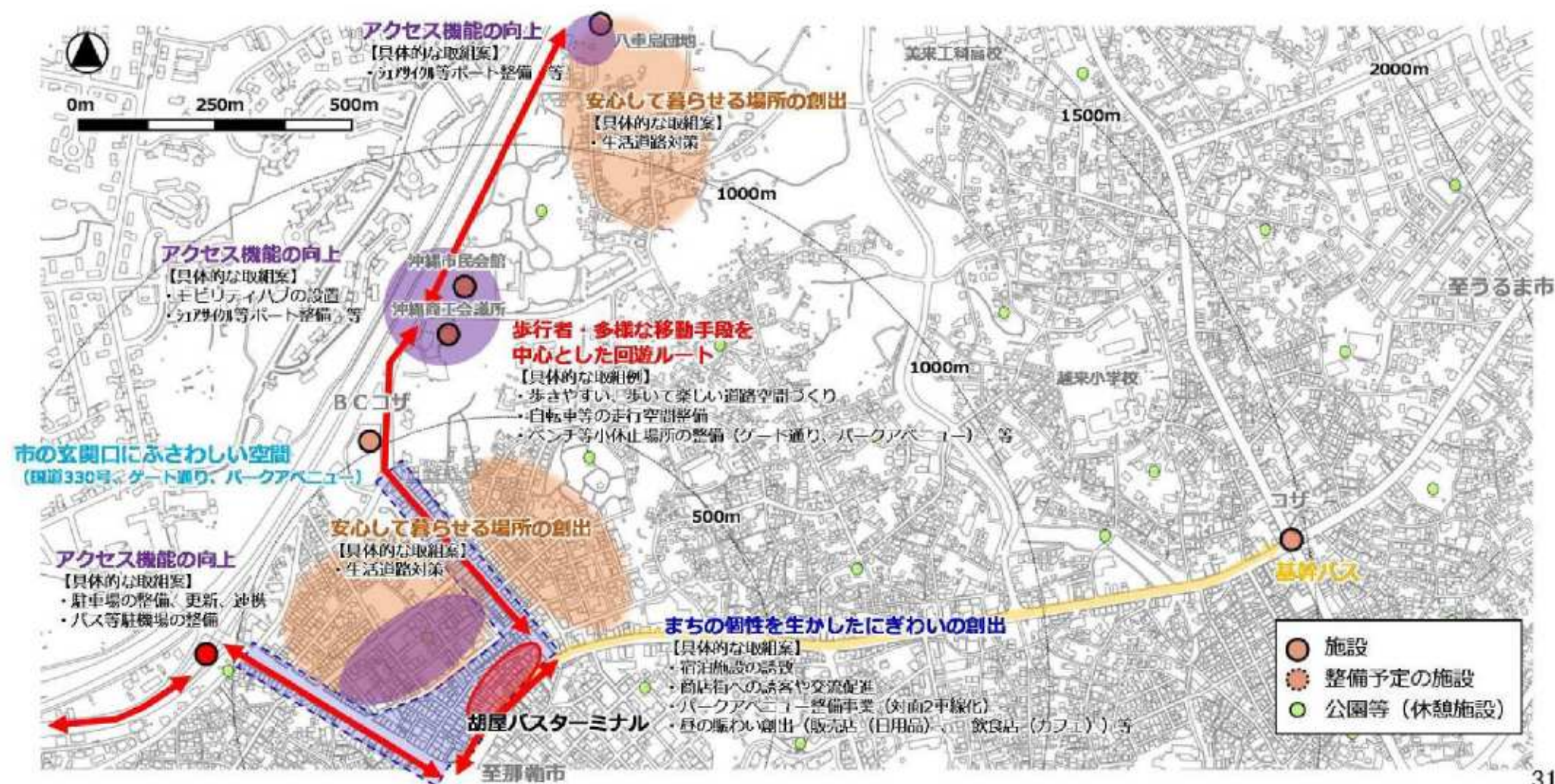
- ・ 沖縄こどもの国方面における2つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



③一番街・八重島方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出

・ 一番街・八重島方面における3つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



④ 沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

・ 沖縄市役所・コザ方面における2つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



◆バスターミナル機能配置イメージ比較

案①	案②
【基本機能・交通結節機能】 ・バス専用レーン・待合スペース ・待合スペースの設置 ・行き先が分かりやすく、安全な乗り降りの場 ・快適な待合スペース ・デジタルサイネージによるバス情報提供 ・目線な歩行者専用レーン ・分岐の明示、道路内の案内表示 【地域に根拠・魅力・機能・乗客機能】 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 【バス専用待合スペース】 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置	【基本機能・交通結節機能】 ・バス専用レーン・待合スペース ・待合スペースの設置 ・行き先が分かりやすく、安全な乗り降りの場 ・快適な待合スペース ・デジタルサイネージによるバス情報提供 ・目線な歩行者専用レーン ・分岐の明示、道路内の案内表示 【地域に根拠・魅力・機能・乗客機能】 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 【バス専用待合スペース】 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置 ・待合スペースの設置
【概要】 - 一番街商店街に隣接してバスターミナルを整備する案 【想定される効果】 - 商店街に隣接しているため、バスターミナル利用者等が商店街に來訪する等、にぎわいの創出につながる 【留意点】 - 那覇向けのバスを右折で引き込む必要があることから、バスの定時性の低下が想定される。	【概要】 - 案①に加え、那覇向け側もバスターミナルを整備する案 【想定される効果】 - 商店街に隣接しているため、バス利用者等が商店街に來訪する等、にぎわいの創出につながる - 那覇向けのバスを引き込まずに済むため、定時性の確保が可能と想定される。 【留意点】 - 那覇向け・うるま市向けで、バスターミナル利用者の動線を繋げるよう工夫が必要

(4) イメージパース

(※下記のイメージは案であり、決定したものではありません。)

① 沖縄アリーナ方面

■ ゲート通り



■ 沖縄アリーナ



② 沖縄こどもの国方面

■ 沖縄こどもの国入口



■ 沖縄郵便局通り



(4) イメージパース

(※下記のイメージは案であり、決定したものではありません。)

③ 一番街・八重島方面

■ パークアベニュー



■ 沖縄市役所前



④ 沖縄市・コザ方面

■ 一番街商店街南側



■ 銀天街ポケットパーク



令和5年度の取組内容

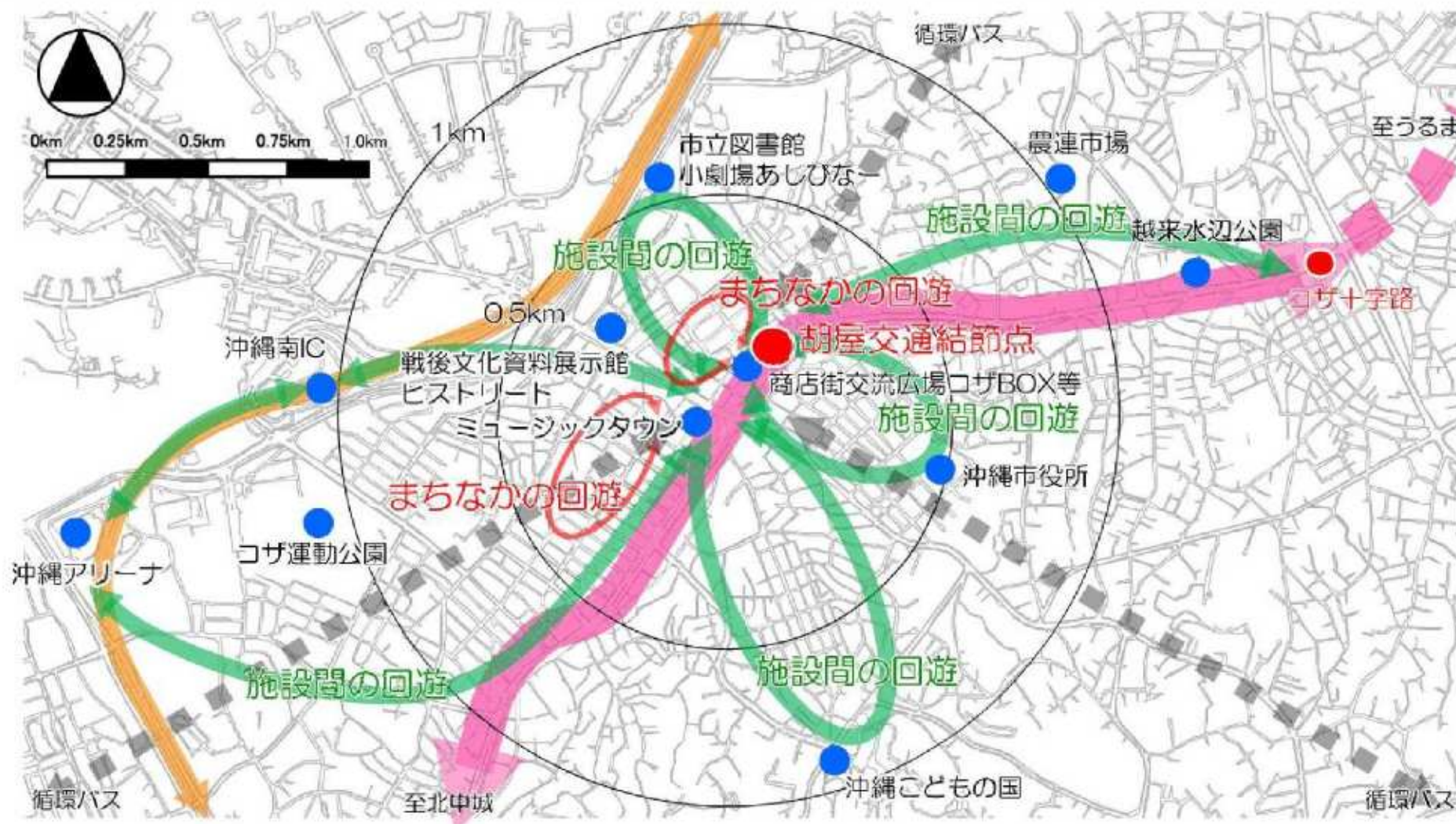
令和5年11月30日（木）

沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

- 令和5年度では、これまでの検討経緯を踏まえ、地域住民及び関係権利者等の合意形成や機運醸成を図るとともに、交通結節点及び周辺エリアの機能配置の検討、連携施策の検討を行い、基本構想の策定を行います。
 - (1) 交通結節点及び周辺エリアの機能配置案の検討
 - (2) 連携施策の検討
 - (3) 交通拠点整備基本構想
 - (4) 構想検討会の開催
 - (5) イメージパースの作成

構想の範囲（案）

- 構想の範囲は下の図をイメージしており、業務を進めながら検討していきます。



(1) 交通結節点及び周辺エリアの機能配置案の検討

- ① 望ましい交通結節点の機能や配置等について検討を行い、交通結節点整備案の作成。
- ② 地域住民や利用者、権利者等に対して、合意形成・機運醸成を図るためのイベント等の実施。
- ③ 地域住民等を対象とした講演会・意見交換会の実施。
- ④ 交通結節点を中心とした、歩いて楽しめるまちづくりエリア（ウォーカブルエリア）の設定検討。

(2) 連携施策の検討

- ① 交通結節点の効果を高めるための方策（まちづくり関連施策及び交通関連施策）の検討。
- ② 土地活用方針の検討、プレサウンディング調査（商業関係者、民間企業等）の実施。
- ③ 権利者へ意向調査、2事業（交差点改良事業、結節点事業）着手に伴う影響及び利用方法の検討。
- ④ 各施策の実施想定年、実施主体等の整理。

(3) 交通拠点整備基本構想

- ① 過年度検討内容や令和5年度の検討結果を踏まえた、交通拠点整備基本構想の策定。

(4) 構想検討会の開催

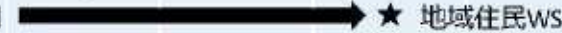
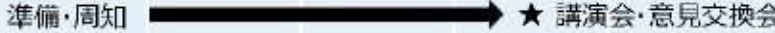
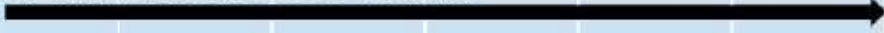
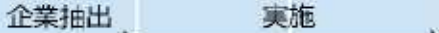
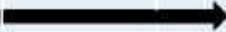
- ① 構想検討会の開催。

(5) イメージパースの作成

- ① 構想におけるバスターミナルや周辺施設の回遊を想定したイメージパースを作成。

令和5年度の取組内容（スケジュール（案））

- 令和5年度は、交通拠点整備基本構想策定に向け、以下の項目、スケジュール（案）で取り組みを行っていきます。

検討項目	令和5年				令和6年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 交通結節点及び周辺エリアの機能配置案の検討	(配置案検討・ワークブルの設定)  準備・周知  ★ イベント 準備・周知  ★ 地域住民WS 準備・周知  ★ 講演会・意見交換会						
(2) 連携施策の検討	(交通結節点の効果を高めるための方策検討)  (プレマーケティング) 企業抽出  実施 登録簿・地籍調査  実施 (意向調査) (施策の実施想定年、実施主体の検討) 						
(3) 交通拠点基本構想							
(4) 構想検討会の開催	資料作成  事前レク  ★ 資料作成  事前レク  ★						
(5) イメージパースの作成							

バスターミナル × K O Z A のまち

コザの **すき** や **想い** コザへの **すき** や **想い**
教えてください！

まちをはがき移動しやすい
 シェアサイクルがほしい！

街中のイベントが
 たくさん♪

ちよつと休憩できる
 場所を増やしたい！

いろんなお店が
 増えてほしいなあ…

日程 2023. **11.25** (土)

場所 ミュージックタウン
 (観光物産振興協会入口付近)

先着 100 名様限り
 ご協力いただいた方には
 ドリンク (ミニペットボトル)
 プレゼント！

主旨 「バスターミナルができればこんなまちになってほしい！」
 「コザのここが好き！」
 「この場所にこんなところがあったらいいなあ・・・」
 などみなさんの想いを募集中！

お問合せ：沖縄市 建設部都市整備室都市交通担当
 TEL 098-939-1212 (担当 喜友名)

バスターミナル × K O Z A のまち

コザの **すき** や **想い** コザへの **すき** や **想い**
教えてください！

まちをはがき移動しやすい
 シェアサイクルがほしい！

街中のイベントが
 たくさん♪

ちよつと休憩できる
 場所を増やしたい！

いろんなお店が
 増えてほしいなあ…

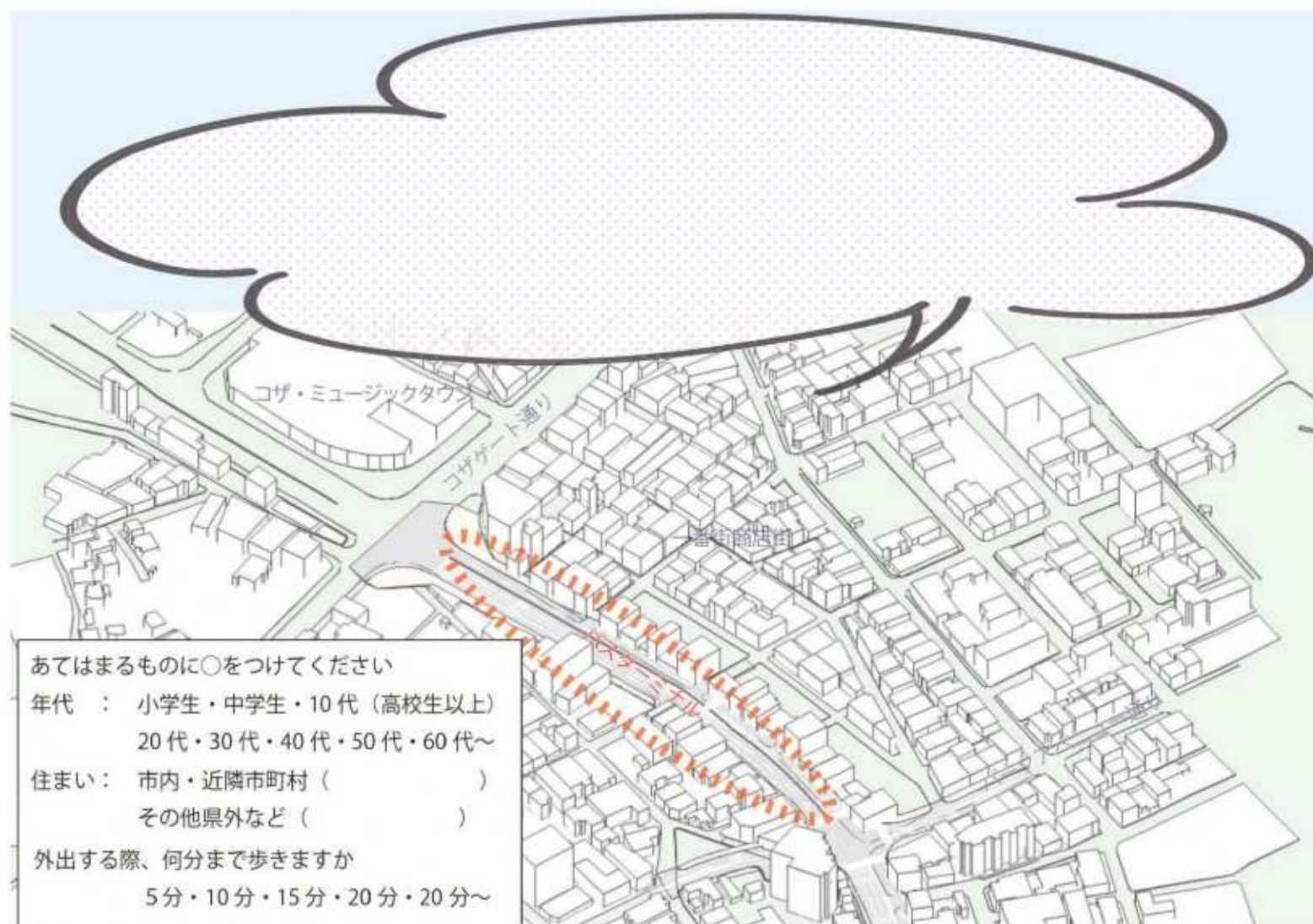
日程 2023. **11.26** (日)

場所 カーニバル事務局本部付近
 (玉山駐車場前)

先着 100 名様限り
 ご協力いただいた方には
 ドリンク (ミニペットボトル)
 プレゼント！

主旨 「バスターミナルができればこんなまちになってほしい！」
 「コザのここが好き！」
 「この場所にこんなところがあったらいいなあ・・・」
 などみなさんの想いを募集中！

お問合せ：沖縄市 建設部都市整備室都市交通担当
 TEL 098-939-1212 (担当 喜友名)



交通拠点基本構想（案）の意見収集 に向けたイベントの実施 （速報版）

1. 目的

- まちの将来に向けた若年層のアイデアを募集
- バスターミナル整備のPR

参加イベント

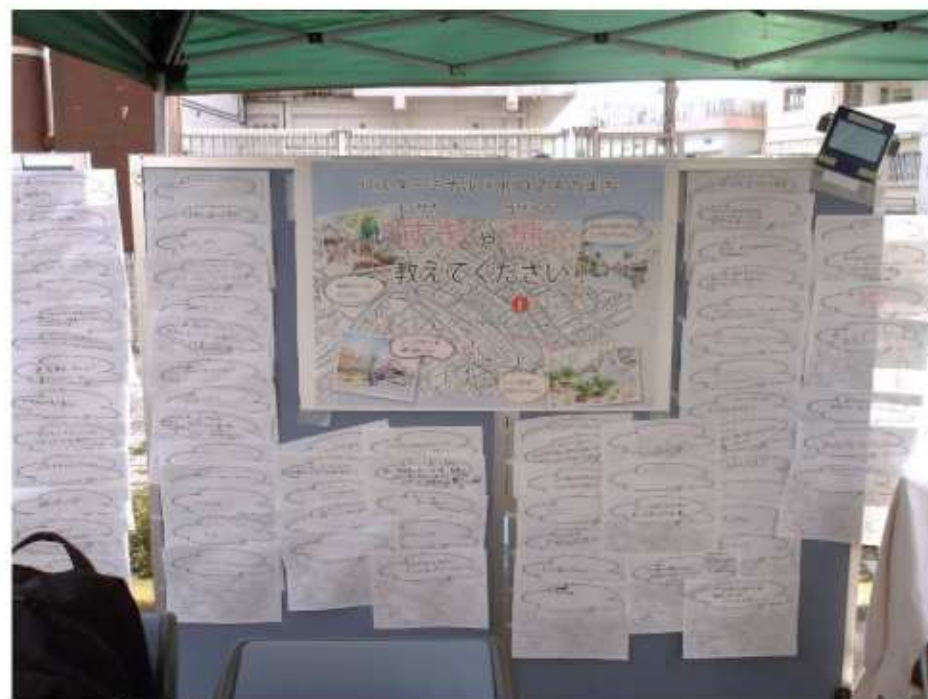
「沖縄国際カーニバル2023」

- ・11月25日（土）（前夜祭）
- ・11月26日（日）



2. アンケートの進め方

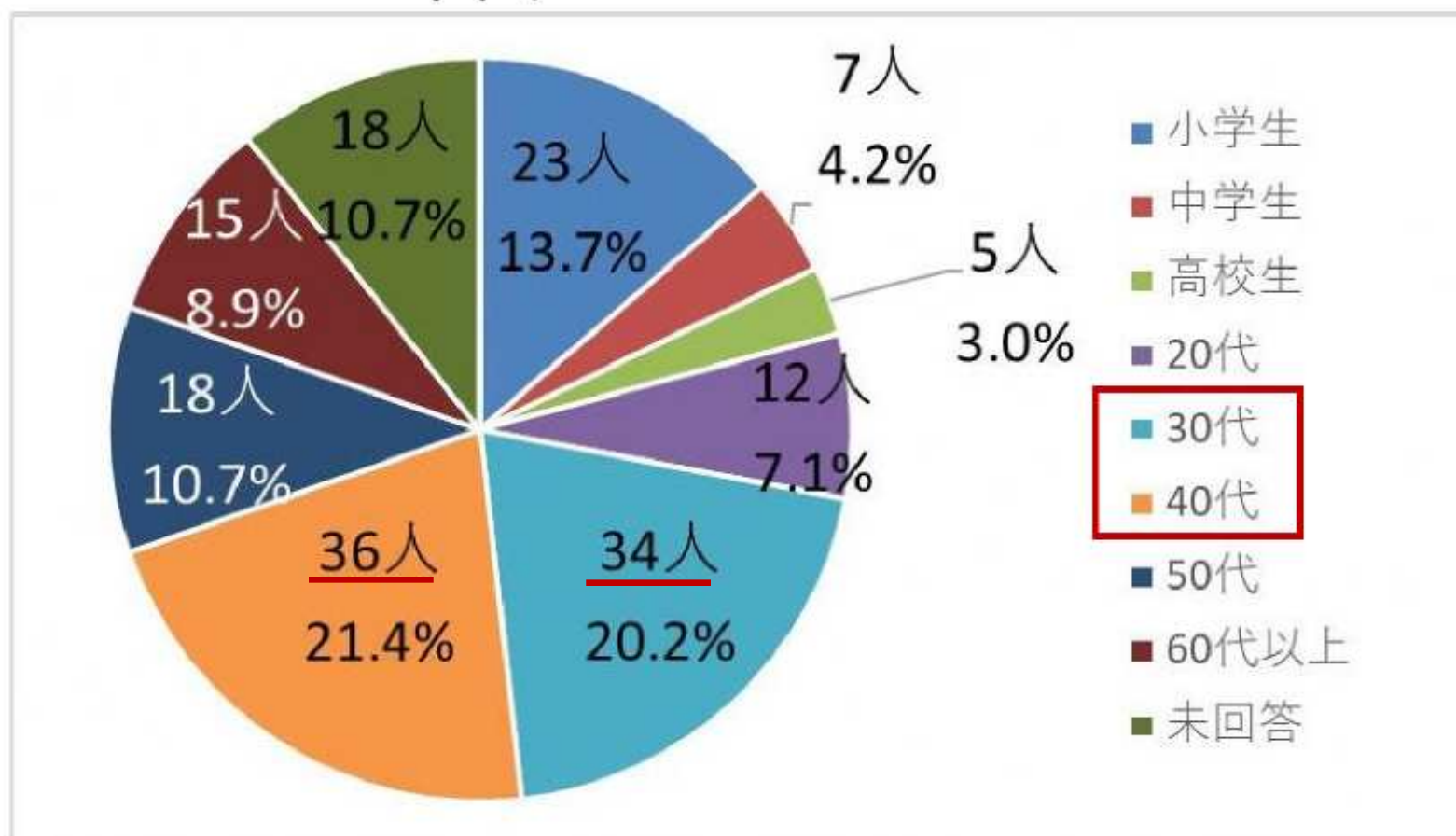
子育て世代を中心に “コザのここが好き！”、“バスターミナルができればこんなまちになってほしい！”
など、コザのすきや想いを聞き取り



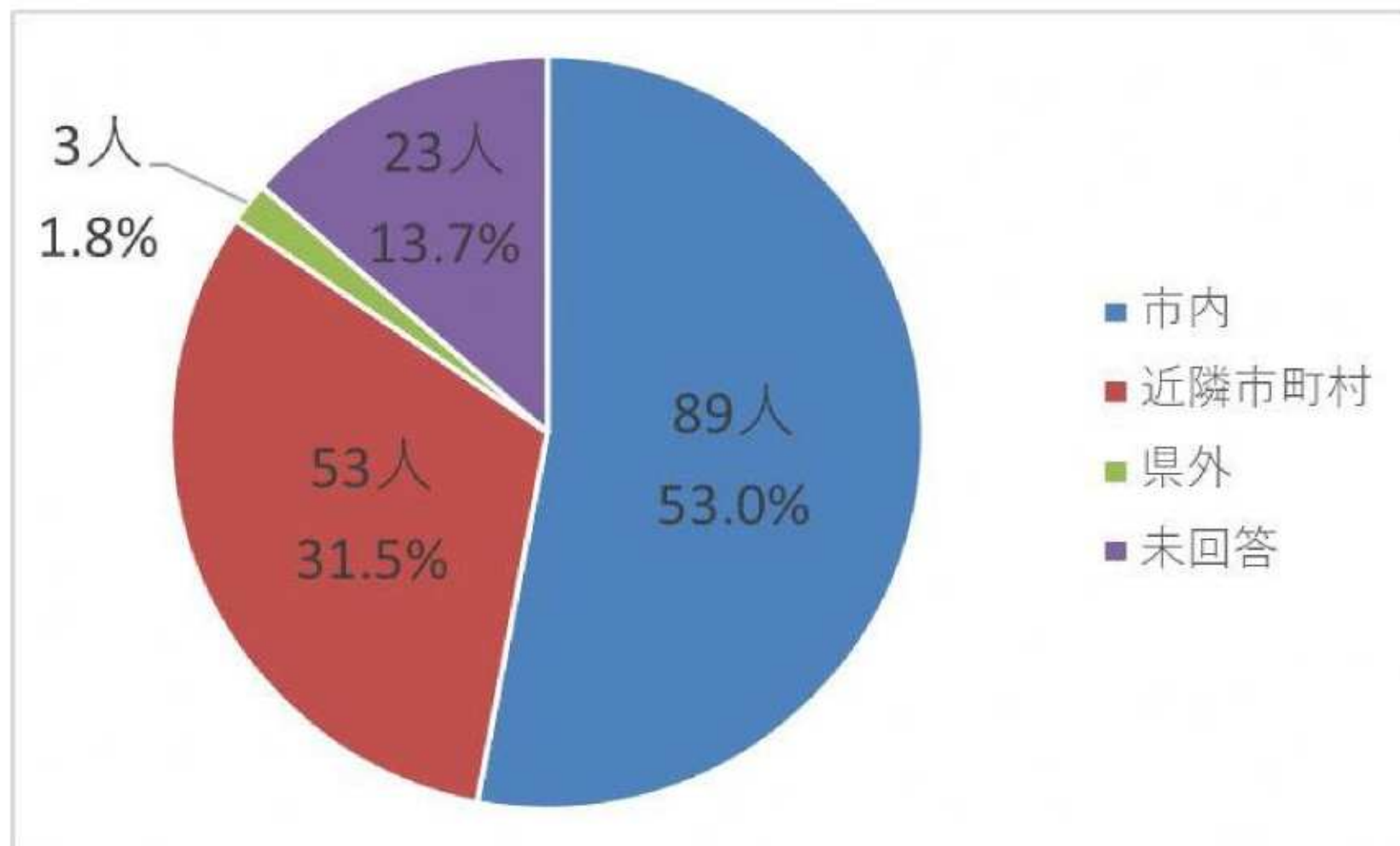
アンケート数：168人

(11/25 83人、11/26 85人)

年代



住まい



コザのここが好き！

- エイサー、音楽、ダンスが盛んなところ
- レトロ感のあるまちなみ、チャンプルなところ
- イベントが多い

こんなまちになってほしい！ あったらしいな！

- 子どもたちが遊べる（楽しめる）ところがほしい
- 安全・安心・きれいで歩ける街にしたい
- 駐車場を増やしてほしい
- もっとイベントをしてほしい

以上